

平成21年 2月 定例会

◆(淵上陽一君)次に、さきの質問を伏線として、また、昨年に引き続きまして、**菊池川流域の活性化に向けての観光振興策について**お尋ねいたします。

待望久しい九州新幹線の全線開業が平成 23 年春に迫っております。県では、この年を新幹線元年と位置づけて、新幹線効果を最大化するために、開業を発射台として、第1に、県民総参加での地域づくり、第2に、熊本の知名度アップ、第3に、リピーター的な旅行者の確保を3本柱にして、各地の地域づくりとイベントの実施などに県民が総参加で取り組む姿勢を見せておられますが、私は、この中に鞠智城の国営公園化の早期実現を加えることが必要であるとの認識を持っております。

国営公園の冠を抱くことで、県外からの修学旅行の誘致が図れます。激動の7世紀後半の古代日本を学習する場として格好の史跡であります。さらに、旅行会社とタイアップした一般の観光客の誘致にも大きな弾みとなります。これは、まさに今県が目標に掲げている地域づくりの核となるものであります。

県北地域では、新幹線の新玉名駅建設に伴う玉名市街地の再開発、さらに、山鹿市街地の再開発の計画があります。地域全体の共通の認識は、アピールの核となる超目玉がないということであります。

ところで、熊本市内には、本丸御殿が完成した熊本城、県南では、国宝となった人吉の青井阿蘇神社が、観光の拠点としてまさに売り出し中であります。

一方、県北における拠点をつくる意味から、早急な鞠智城の国営公園化が大きくクローズアップをされているのであり、真の意味での地域づくりの核と地域活性化の源は、鞠智城の国営公園化にあると確信しています。

では、県の鞠智城国営公園化に向けた取り組みは、いかがなものでしょうか。

潮谷前知事が、平成 19 年の年頭記者会見で、県の重要政策として国営公園化構想を発表されて2年余りの歳月が流れました。

この間、昨年4月からは、蒲島知事による新たな県政のかじ取りが始まりました。知事は、鞠智城の国営公園化もマニフェストに掲げておられます。

昨年秋に、奈良県の平城宮跡が国営公園の分園として整備されることが閣議決定されました。先に手を挙げた熊本県として、悔しい思いではありますが、一昨年の春に就任された荒井正吾奈良県知事の取り組みからは多くの学ぶことがあります。

奈良県には、平成5年ごろから執行部に構想がありました。しかし、歴代の知事は余り関心を示さず、全く進展していませんでした。ところが、県知事選挙で、元運輸省観光部長で参議院議員を歴任した荒井氏が、平城宮跡の国営公園化構想をマニフェストに掲げ、積極的な活動を展開されたことで、当選後、一気に事態が進展しました。

荒井知事は、当選の翌日から市町村へのあいさつを抜きに上京して、県選出の国会議員や国土交通省及び関係省庁へ出向き、早々の要望をされました。8月末日までの4カ月間の知事

の要望は8回にも及びました。奈良県職員の言葉をかりれば、ポスターも間に合わないほどの素早い行動であったそうです。

一方、鞠智城の国営公園化について、国土交通省から国指定特別史跡を取るべきとの条件が付されていますが、これにつきましては、既に国営公園となっている佐賀県の吉野ヶ里遺跡の有名な話があります。

佐賀県では、県出身で当時の保利耕輔文部大臣を中心に、国営公園指定に向けて、当時の建設省へ猛烈な運動を展開すると同時に、特別史跡指定獲得のために、文化庁に対しても、当時の文化庁主任調査官が、それはすさまじい波状攻撃で恐れ入ったと回想するほどの働きかけを行ったのであります。

熊本県も、これくらいのはまりが必要です。蒲島知事は、地元の山鹿の遺跡であり、多少遠慮があるかと思われませんが、鞠智城の国営公園化は、決して山鹿のみ、あるいは菊池川流域だけの問題ではなく、熊本全体の観光戦略の根本問題であると申し上げます。

もちろん、鞠智城の所在する山鹿市にとりましては、平成 23 年の新幹線全線開業前に、ぜひとも国営公園化のめどをつけたい所存であります。私は、この課題こそが、くまもとの夢4カ年戦略の最もふさわしい課題であると確信します。

さて、昨年 10 月 23 日、鞠智城において、百済青銅製菩薩立像の大発見がありました。そこで、教育長には、本仏像の権威者による鑑定評価と特別史跡指定獲得への教育委員会としての取り組みをお尋ねいたします。

そして、蒲島知事には、国営公園化に向けて、今後どのような具体的行動をとられるつもりか、お考えをお尋ねいたします。

〔教育長山本隆生君登壇〕

◎教育長(山本隆生君) まず、百済青銅製菩薩立像の評価についてであります。仏像研究の第一人者である大西修也九州大学名誉教授から、西暦 660 年から 675 年の期間に百済でつくられた菩薩立像に間違いのないとの見解をいただいております。鞠智城の成立根拠を強化する重要な出土物であり、特別史跡指定に向けた取り組みの大きな弾みになると認識いたしております。

次に、特別史跡指定への取り組みについてですが、国営公園化のために必要不可欠なものであり、緊急に取り組むべき課題と認識いたしております。昨年 10 月には、特別史跡指定への要望書を文化庁へ持参、提出いたしました。現在、これまでの発掘調査成果を取りまとめた総合報告書の作成を精力的に行っているところでございます。

鞠智城は、既に特別史跡に指定されている大野城、基肆城などの古代山城と比べても同等以上の価値があると考えており、今後も引き続き、特別史跡指定のための取り組みを着実に進めてまいります。

〔知事蒲島郁夫君登壇〕

◎知事(蒲島郁夫君) 鞠智城の国営公園化は、くまもとの夢4カ年戦略においても、本県のすぐれた歴史や文化などが再認識され、誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造を目指す中

で、大変重要な施策と考えております。

これまで、県としては、地元市町村や関係団体で構成する促進期成会や県選出国会議員で構成する議員連盟と連携し、さまざまな要望活動を展開しています。私も、金子国土交通大臣に直接お会いして国営公園化を強くお願いしてまいりました。

また、昨年出土した百済系仏像には強い感動を覚えました。私は、鞠智城が国営公園にふさわしい文化的価値を有する史跡であるという確信をさらに深めたところです。この発見により鞠智城の文化的価値がより一層明確になり、特別史跡の指定にも弾みがついたものと考えています。

県では、古代からこの地域が紡いできた歴史ロマンを体験、学習できる場として、国内外の多くの人々が集う公園を目指し、現在、他の国営公園にも匹敵する基本構想の策定に取り組んでおります。

県議会におかれましては、明日、国営公園化に向けた議員連盟を設立される運びと伺っております。

県としては、今後とも、県議会の皆様と連携をとりながら、さまざまな要望や活動を行います。また、私みずから国に対してトップセールスを行うなど、早期に鞠智城が国営公園化されるよう取り組んでまいります。

〔淵上陽一君登壇〕

◆（淵上陽一君）教育長の答弁によれば、この仏像は、7世紀後半の百済で作製されたとのこと。ということになりますと、鞠智城の築造はまさにこの時期ですから、百済からの亡命貴族がその際直接鞠智城へ持ち込んだ可能性が非常に高くなります。これは日本書紀の記述を裏づける大変な発見となります。

したがって、この発見によって鞠智城そのものの価値がさらに高まり、特別史跡指定、そして国営公園化実現に向けて、より一層の弾みがつくものと期待いたします。悲願達成に向けて、知事、教育長の一層の御尽力を賜りますよう、何とぞよろしくお願いいたします。また、熊本県の活性化は、この菊池川流域からやるんだというぐらいのはまりを持って、知事にはしっかり頑張っていたいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、知事より御紹介がありました国営鞠智城歴史公園設置促進議員連盟が、県議会議員49名全員の内諾を賜り、あす設立総会を開催する運びとなりました。県議会挙げての御理解と御協力に対して、地元出身であり、また発起人の一人として、高いところからではありますが、この場をかりまして心から厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。